フェリーさんふらわあ

１２５ccで行く、鹿児島ぶらり散歩女子旅

【2017年8月　大阪府在住　N様】

（旅のコメント）
この度、女子旅モニター募集のお知らせを知り、応募してみると、見事当選。
バイクも乗船可とのことでしたので、１２５ccのバイクとともに、鹿児島ツーリングを楽しんできました。

（フェリーさんふらわあの旅1日目）
自宅よりおよそ３０キロ、南港へ向かいます。
お世話になります！
レディースルーム（体験として利用）へ案内してもらいました。
２段ベッドが二つ。船内とは思えない部屋です。

船内には、レストラン、大浴場、売店もあり、まるでホテルで過ごすような感覚です。
夜は星空観察があります。室内でレクチャーを受けた後、実際に甲板へ出て星空観察です。
退屈することなく過ごせました。

船酔いを心配していましたが、特に揺れがひどいと感じることはありませんでした。
明日のために、早めに就寝です。

（フェリーさんふらわあの旅２日目）
早く起きたら日の出を見ようと思っていましたが、７：００頃までぐっすり寝てしまっていたので、すっかり日は昇っていました。
朝食を済ませ、身支度を整え、下船案内を待ちます。
志布志港へ着きました。
バイクは着岸後、２０分程度経ってからの下船案内でした。

フェリー降り場に程近い、道の駅くにの松原おおさきにて、
今日のルートの確認と休憩してから、スタートです。
カブト虫がお出迎えです。

フェリーさんふらわあ

鹿屋航空基地史料館へ向かいます。敷地内に航空機が展示されています。
飛行機好きでなくとも、興味がわいてきます。
史料館は入館料が無料と、良心的です。あの「ゼロ戦」模型も展示されています。
戦争を知らない世代が増える中、少しでも戦争について知ってもらえる施設です。

その後、R２６９を南下し大隅半島佐多岬へ向かいます。
時間にして１時間１５分ほどでしょうか。
北緯３１度、本土最南端佐多岬へ。

公園になっており、屋根付きのベンチがあります。バイク乗りは最〇端と付く場所が好きです。
ガジュマルがお迎えしてくれます。土曜日にもかかわらず、人はまばらで、
ゆっくり過ごすことができました。あいにく展望台工事中のため、御崎神社までしか通れませんでした。最南端の展望台までは行くことは出来ませんでしたが、景色は申し分ありません。
展望台は、また次回行きたいと思います。

R６８→R２６９来た道を戻り、桜島を目指します。
途中、パノラマパーク西原台という看板を見つけ、休憩も兼ねて寄り道です。
バイク乗りは、高いところも大好きです。
林道、と言っても舗装路です、を走ること十数分、高台に到着です。

高台から眺める開聞岳と錦江湾もまた、ずーっと見ていたくなる景色です。
景色を堪能したので、今日の最終目的地桜島へ向かいます。

フェリー さんふらわあ

今日の宿泊は鹿児島市内のため、桜島フェリーで鹿児島市内へ渡る予定です。
ということは、桜島の付け根の部分からスタートすると、時計回りに１周半走らなくてはなりません。

R２６９→R６８→R２２０→R２２４

開聞岳が遠くなると同時に、桜島が噴煙を上げているのが見えてきます。
交通量は少ない、信号は少ない、そしてなんと言っても、景色に飽きない。
退屈せずに走れました。近づくにつれ、桜島の荒々しい山肌を目の当たりにします。
今も火山活動中だということに納得です。
途中給油と小休止をはさみ、いよいよ桜島入口到着です。２キロほど走ると、有村溶岩展望所に到着です。
遊歩道になっており、滞在時間に合わせて散策することができます。
せっかく近くに桜島が見えるので、ジャーンプ！

その後、R２２４で湯之平展望所へ向かいます。
山道を走って高度を上げます。後で知ったことですが、湯之平展望所は、
桜島において一般の人が入ることの出来る最高地点だそうです。

桜島一周を続けます。
黒神町の埋没鳥居で、噴火のすさまじさを体感し、暗くなってきたので、
少々急ぎ気味でフェリー乗り場へ向かいます。

１９：００発のフェリーに乗り込み、名物の「やぶ金」うどんをいただきます。

桜島→鹿児島への所要時間は１５分のため、うどんを食べている間にあっという間に到着です。
今日は鹿児島市内で宿泊です。
宿泊先にバイク置き場が無いため、事前に調べておいた、鹿児島中央駅西口の駐輪場で預かってもらいます。

＜本日の走行距離およそ２３０キロ＞

フェリーさんふらわあ

（フェリーさんふらわあの旅３日目）
今日は嘉例川駅と坂本龍馬新婚旅行の地をめぐりながら、霧島神宮へ行ってから、志布志港へ戻る予定です。

７：００過ぎに出発です。今日はくもり空。
Ｒ１０を走り、桜島を右手に見ながら、桜島ともお別れです。
桜島は、今日も堂々としていました。

Ｒ１０→Ｒ４２日本一のクスノキがある蒲生八幡神社へ到着です。

山間の快走路を抜け、次の目的地へ向かいます。
Ｒ４０→Ｒ５５→Ｒ５０４→Ｒ５６日本最古の木造駅舎嘉例川駅へ到着。
嘉例川駅へ立ち寄った目的は、JR 九州の特急「はやとの風」を見ること、
九州駅弁グランプリで３年連続グランプリを受賞したことのある駅弁を食べること、である。
名物駅弁「百年の旅物語・かれい川」である。

「はやとの風」を拝み、昼食にはちょっと早い時間でしたが、駅弁も完食しました。
嘉例川駅に着いてから知ったことだが、
駅には、嘉例川観光大使なる、猫「ニャン太郎」が居てるそう。
どこからか姿を現し、愛想を振る舞っていてくれました。
お腹を見せてゴロンとするなど、人に慣れている様子でした。

フェリーさんふらわあ

続いて、坂本龍馬とお龍の日本最初の新婚旅行の地をたどります。
R５６→R２２３→R４７０→R２２３まずは和気神社です。

「龍馬お龍新婚旅行の地」の記念碑がありました。
続いて、犬飼の滝です。
遊歩道があり、滝つぼの近くまで行けます。

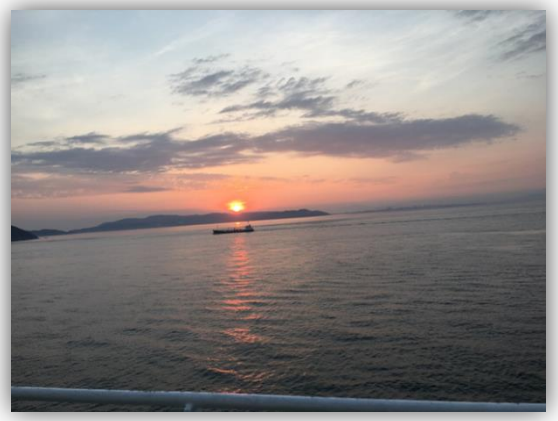
次は塩浸温泉龍馬公園です。
ここには龍馬をお龍の湯治碑があります。
公園内には、有料の温泉、無料の足湯、散策路、資料館があります。
資料館はこじんまりとしていて、じっくり見て回っても、十分時間に余裕があります。
その後、最後の目的地である霧島神宮を目指し、R２２３をしばらく走ります。
途中、霧島温泉郷を通過します。
時間の都合で、寄り道の時間は無かったのでが、風情のある温泉街という印象でした。
ここも、次回はゆっくり散策してみたいです。

霧島神宮にて、今回の旅の感謝を、無事を祈ります。

あいにくの天気でしたので、山々の景色は今一つでしたが、
「霧島」の地名にふさわしい、霧は拝むことができました。
でも、次回は晴れたときにリベンジしたいな。
さて、時刻は１４：１５。

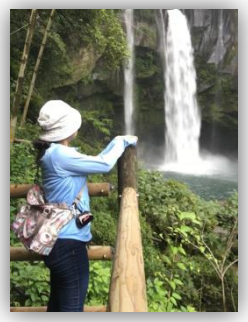
参拝もほどほどに、急ぎ志布志港へを向かいます。
１７：００発のフェリーに間に合うためには、あまり時間がありません。
R２２３→R３１→R2→R１０９→R６３途中道の駅松山にて休憩をはさみながらの走行でした。
無事、１６：１５志布志港到着です。
行きと同じレディースルームへ案内してもらい、旅もほとんど終了です。
早々に入浴と食事を済ませ、旅の余韻を感じながら、ベッドでゴロゴロします。
旅の疲れもあるので、早くに就寝します。
＜本日の走行距離およそ１７０キロ＞

フェリーさんふらわあ



（フェリーさんふらわあの旅４日目）
５：００前に目が覚めます。日の出が見られる時間だ！今日の日の出は５：３０頃だそうです。
簡単に身支度を済ませ、急いで甲板に上がります。すでに日の出を待ち構えている人がちらほら。
雲と島に邪魔されながらも、日は昇ります。朝焼けの美しいこと。
みなさん、夢中でシャッターをきっていました。

下船まではまだ時間があるので、一旦部屋に戻ります。
朝食を済ませ、荷造りをし、下船案内を待ちます。
名残惜しいですが、そろそろさんふらわあともお別れです。帰りも揺れに悩まされることなく、無事に着岸です。
乗組員の方に丁寧にお礼を述べ、３０キロほど先の自宅へ帰りました。



☆今回の工程☆　（総走行距離　約460キロ）

1日目　さんふらわあ乗船　船旅満喫☆

2日目　大隅半島満喫コース
　　道の駅くにの松原おおさき　鹿屋航空基地　佐多岬
　　桜島一周　桜島フェリー　鹿児島市内泊

3日目　喜例川駅　坂本竜馬新婚旅行跡地めぐり　霧島神宮

4日目　帰路

☆今回の行程でおすすめの「船に泊まろう　バイクプラン」。最安値23,000円～楽しめる船旅です。

船に泊まろう。